

2017 年全国硕士研究生招生考试日语试题

I. 基礎知識(20 点)

次の文章を読んで、1～20の問いに答えなさい。答えは選択肢[A][B][C][D]からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

「読む」ということについてなど、だれもあまり考えてみることはしない。しかし、「読む」と(1)真正面から取りあげて考えてみると、本当はなかなか難しいのである。

かつて、ある生徒の答案があまりにも素晴らしく、(2)大きく「グッド」と書いて、賞賛の言葉を書き連ねたことがある。問題文は難解、設問もその文章の思想の根っこを把握するもので、こんな問題のできる生徒がいるといいな、そう考えながら作った問題であった。ほとんどの生徒が見当もつかずにピントの外れた解答をしている中で、その答案は、的確に読み取り、確かな論理で思索し、そして完璧な内容を緊密な文体で表現していた。「グッド」は、そんな答案に(3)感嘆の叫びだったのである。

それから五年後、大学院生になっている彼と会う機会があったが、驚くべき(4)、彼はそのときのことを鮮明に覚えていて、次のような話をしてくれた。

僕はサッカーのエースストライカー(主力队员)でした。中学でも、高校でも、僕がいなければチームは勝てないと内心思っていました。ある時など、ディフェンダー(守門員)から「おまえはいいなあ、足でボールを蹴っているだけで威張っていられるんだから。おれなんか体で阻止しているのに、ちっとも認めてもらえねえや。」と嫌味を言われたこともありましたが、僕が(5)なのは当然のことだと思っていました。ところがある大きな大会への出場権をかけた試合に、監督が僕を後ろに下げたんです。僕はその理由を考えるより先に、(6)こんな大事な試合に僕を下がらせるのかと、憤然としたままゲームをやりました。ゲーム(7)勝ちました。先生は、僕を下げたこと(8)何も言いませんでした。僕の心には、憤りと不満とだれにともしれない敵意が(9)ありました。ところがある時、突然、僕は一体チームの中でどういう存在だったのだろうかという思いが沸い(10)のです。僕は一体どういう奴なんだ、僕はどんなふうに皆に思われているのだろう、僕とは一体なんだ。そんなふうに思い悩んでいた時、先生のテストで「グッド」と書き(11)のです。

この話を聞きながら、コトンと胸に落ちた(12)があった。それは、物が「見える」ためには、逆説的ではあるが、自分がないこと、己の「我」がないこと、かつこ良く言えば、自分が一個のvain(空虚)であることが必要ではないかということである。彼の場合も、自分を高しとする思い上がり捨てて誠実に自分と向き合う気持ちになっていたからこそ、問題の文章がよく読めたのではないか。おそらく、このときの彼の心は、柔らかに伸びやかな何もない広がりであったはずだ。

(1)～(12)に入るもっとも適切なものはどれか。

- | | | | |
|-----------|---------|----------|-----------|
| 1. [A]に | [B]を | [C]で | [D]へ |
| 2. [A]思わず | [B]思う存分 | [C]思いのほか | [D]思いもよらず |
| 3. [A]面する | [B]対する | [C]接する | [D]関する |
| 4. [A]ことを | [B]ことで | [C]ことは | [D]ことに |
| 5. [A]スター | [B]スキー | [C]スロープ | [D]スタート |



6. [A]なんか [B]なんて [C]なんで [D]なんと
7. [A]をも [B]には [C]とは [D]のも
8. [A]に対して [B]に応じて [C]において [D]について
9. [A]きっと [B]やっと [C]ずっと [D]もっと
10. [A]てきた [B]てみた [C]ておいた [D]ていった
11. [A]てあげた [B]てしまった [C]てやった [D]てもらった
12. [A]の [B]わけ [C]こと [D]ところ
13. 文中の「考えながら」の「ながら」と同じ使い方のものはどれか。
[A]あの男の子は若いながら、よく気がきいている。
[B]学生でありながら、ブランド品ばかり使っている。
[C]田舎の叔父は貧しいながら、幸せな一生を送った。
[D]車を運転しながら、電話をかけるのは危ないことだ。
14. 文中の「大学院生になっている」の「ている」と同じ使い方のものはどれか。
[A]お母さんは、いま台所で料理をしているんですけど……。
[B]もう10時だから、どこのデパートも閉まっていると思う。
[C]ほら、あそこを歩いている人は新しく来た近代文学の先生だよ。
[D]あのTシャツを着ている人は朝から家の前をうろうろしている。
15. 文中の「威張ってられる」の「(ら)れる」と同じ使い方のものはどれか。
[A]わたしは夜型で、そんなに早くは起きられませんよ。
[B]この写真を見ると、小学時代のことが思い出される。
[C]祖母に死なれた彼はすっかり元気を無くしてしまった。
[D]先生は講演した後、すぐ空港に向かって国へ帰られた。
16. 文中の「チームの中で」の「で」と同じ使い方のものはどれか。
[A]北京のような大都会で、住宅問題に悩んでいる若者が多い。
[B]租界だったこの辺りの建物は、石でできているものが多い。
[C]大雨で中止になったサッカーの試合は、次の日に行われた。
[D]東京から新幹線に乗れば、3時間ぐらいで大阪に着きます。
17. 文中の「見える」ため」の「ため」と同じ使い方のものはどれか。
[A]今年は夏が暑かったため、エアコンがよく売れた。
[B]台風が来るため、空港は閉鎖されることになった。
[C]生活がゆたかになったために、平均寿命が延びている。
[D]留学するために、一生懸命に働いてお金をためている。
18. 文中の「ということ」と同じ使い方のものはどれか。
[A]国道101号線の入口で、交通事故があつたということだ。
[B]ボランティア募集の締め切りは来月の末だということだ。
[C]この諺の意味は時間を大切にしなければならないということだ。
[D]山田さんは近く会社を辞めてフランスに留学するということだ。
19. 文中「把握」の読み方はどれか。
[A]ばあく [B]はあく [C]ばわく [D]はわく
20. 文中「蹴って」の「蹴」の読み方はどれか。
[A]か [B]さ [C]け [D]き



Ⅱ. 読解(55 点)

A 次の文章の[一][二][三][四]を読んで、21～40の問いに答えなさい。答えは選択肢[A][B][C][D]からもっとも適切なものを1つ選びなさい。(2点×20=40点)

[一]

日本には現在、朝日、毎日、読売という三大組がある。これに、日経、産経を加えて五大組と称することもあるらしい。

新聞というものを、わたしはすでに数十年前からほとんど読まないことにしている。それをひそかな誇りにしている。

なぜ読まないか、話は簡単である。読み比べて、何の区別もないからだ。久しく前から、新聞を作る人たちが自分は言葉のプロであり、文章を書くことによってメシを食う職業人であるという意識を、徹底的に喪失してしまった。売文業者であることを忘れ果てた。事件が起こり、その事件を二足す二は四——という文体で報道するだけならば、それはジャーナリズムとは言えない。ジャーナリズムとは、文章である。もちろん、事実は伝えなければならない。が、その事実を伝えるにも無限の方法があり、発想があることを、みな忘れてしまった。二足す二は四という文章ばかりである。

(ア)、どれを見ても区別のつかない新聞に、区別をつけるのはコラム(专栏)である。いい日本語、面白い文章、楽しい文章、読んで啓発される文章——そういうもので書かれたコラムがあるかないかが、新聞の生命を決定するとわたしは考える。

大正末期から昭和にかけて、かなり長い間毎日新聞は薄田泣菫の「茶話」というコラムを載せていた。当時の毎日新聞はたった一つ、この「茶話」のコラムだけで売れていたんだ。座布団サイズの新聞が、ハガキ大のスペースのコラムで売っていたのである。が、それは当然のことだろう。その頃、まだ新聞はその文章によって読まれるという、本来の機能と美德が生きていた。新聞を作る人の意識の中に文章を売るという意識があったのだと思われる。

これに対抗するため朝日新聞が持ち出してきたのが、杉村楚人冠のコラムである。どちらかという、わたしは薄田泣菫の文章のほうが好きである。いま読み返してみても、なお読むにたえるユーモア、柔らかさ、清新さ、色々なものを含んでいる。こういうコラムというものが、もうなくなってしまった。あのコラムがあるために新聞を読もうという喜びが、ことごとく死に絶えてしまった。もちろん、外部の偉いセンセイたちに頼んでコラムを書いてもらう欄はいくらでもあるし、どの新聞にもある、が、その内容自体が凡庸、陳腐、お粗末…ことごとくこれで、全然面白くない。にもかかわらず、止められないでいる。だれも読まないのに止められないという点では、死亡広告の記事に似ている。

ニュースそのものは、現代、即刻テレビで報道されてしまう。そして、口コミというコミュニケーション機関もある。従って、新聞の権利回復はいまこそコラムにかかっているのである。読みたくなるようなコラム、これが新聞なんだ。

21. 文中に「新聞というものを、…している」とあるが、それはなぜか。

[A]新聞の文章を書く人たちは文章で生計を立てる必要がなくなったから

[B]新聞は事実を伝えなければならないという義務を徹底的に忘れたから

[C]新聞の内容はどれもこれも大体同じで変化がほとんど見られないから



- [D]新聞は朝日などのいわゆる三大組または五大組に独占されているから
22. 文中の(ア)に入れるものはどれか。
 [A]なお [B]さて [C]そのため [D]すなわち
23. 文中の「それ」は何を指すか。
 [A]字数の少ないコラムが当時の毎日新聞を支えていたこと
 [B]薄田泣菫の書いたコラムを長い間毎日新聞に載せていたこと
 [C]美しい日本語で書かれたコラムが新聞の生命を決定していたこと
 [D]新聞の本来の機能と美徳が当時の日本社会ではまだ生きていたこと
24. 文中に「新聞の権利回復は…かかっているのである」とあるが、それはなぜか。
 [A]現在ほどの新聞のコラムの内容もつまらなくて清新さが全くないから
 [B]テレビはコラムのような形でニュースを報道することができないから
 [C]ニュースを即刻に報道する面において新聞はテレビには勝てないから
 [D]コラムから新聞を読む喜びを味わいたい人がいないわけではないから
25. この文章の内容に合っているものはどれか。
 [A]現在の新聞をつくる人たちは自分が文章で生きていることを完全に忘れた。
 [B]だれも読まない新聞のコラムがいずれ死亡広告の記事に取り替えられよう。
 [C]朝日新聞と毎日新聞の競争が現在のような清新なコラムの文章を生み出した。
 [D]事実を報道する場合には新聞の文章は作者の発想や意見などを避けるべきだ。

〔二〕

一人の人が一生のうちに、何人の先生にもものを教えてもらうだろう。幼稚園から始まって学校の先生方は言うまでもないが、この頃は学校外にお稽古事をするのが流行で、小さい人がピアノとかバレエとか特別の先生についている。学校を卒業したお勤めの人たちも色々先生をもっている。生花? 茶道組もあるし、手芸組、スポーツ組、実用組の人は簿記? 筆記? タイプライターと何でも次々に習得しようというものもある。

主婦はタイプや筆記を習っても、それを生かして働きに出るだけの時間のゆとりがないから、こういう勉強をする人は少ないらしく、スポーツもいまさらテニスは骨が折れるし、——手芸が多いだろうか。

知人に生花? 茶道の先生があるが、忙しい中に暇を作っては、書道? 日本舞踊と習って歩く。人にものを教える商売は、つつしみがちになるので、気がふけていけないと言う。先生と呼ばれれば、いつもどこからか多数の生徒に見られている、と覚悟していなければならぬ。「学ぶ」は「まねぶ」であって、真似る意味があるのだから、見られているということは真似られることだとまずはそう思わなくてはならない。真似られて恥をかくようなことはできないから、いつも謹んでいる。すると着物でも何でもつい地味に落ち着いたものを選ぶようになるし、気持ちもなるべく平穏にと心がけるので、いつしか年齢よりふけてしまう。けれどもお弟子さん方は欲張りで、ふけて落ち着いている先生は好きなくせに、ふけ込んで若さを失っている先生なんかは大嫌いなのだそう。ふけていて若々しくなくては、生徒たちに人気がないのだそう。難しいものだ。

ものを習えば若々しく見えるという。それでその先生たちはせっせと稽古事をして、活気を絶やさないように心がけ、かつ楽しんで生活をしているのである。

授業料を出す出さないにかかわらず、教えてくださいと願う以上は、教えてくれる人は先生



である。でも願わないで教えてもらう縁もたくさんある。私にも学校の先生のほかに、幾人かの先生のお世話にもなり、また願わないで教えてもらった師もたくさんある。ふと読んだ本、通り掛かりで見えてはっと納得した光景等々、何人の師に逢っているかと思うとき項垂れて感謝する。その中で大きな師が一人いる。

死である。私は十年ほど前に父の死にあったのだが、あの死にあったのでどんなにいくつものことを教えられたか、数えることも何もできないのである。死というのは、人生の最後のところに控えた大先生であると思う。だが、この大先生にあって教えられるのは、——頭の悪い、しかもなまけもののみなのだ。死は師である、と私は思っている。

26. 文中の「こういう勉強」の内容はどれか。

- [A] ピアノのような芸術的なもの [B] タイプのような実用的なもの
[C] 生け花のような伝統的なもの [D] テニスのような体力的なもの

27. 文中に「つつしみがちになる」とあるが、それはなぜか。

- [A] いつも他人に注目されて模倣されていることをよく知っているから
[B] 若くても年齢が上だという印象を学生に与えたいと思っているから
[C] 落ち着いた服を着て学生を教えることがすでに常識になっているから
[D] 忙しくても書道や日本舞踊など教養となるものの勉強をしているから

28. 文中に「難しいものだ」とあるが、なぜこのように言うか。

- [A] 学生は授業料も出さずに先生にものを教えてもらうこともしばしばあるから
[B] 学生は生け花や茶道の先生に書道などのことを教えてもらうこともあるから
[C] 学生は欲張りで気持ちの平穩で落ち着いた実際年齢の若い先生が好きだから
[D] 学生はふけて落ち着いているけれども若さを失っていない先生が好きだから

29. 文中に「死は師である」とあるが、なぜこのように言うか。

- [A] 人間がふけてしまうと、死だけが実際に何かを教えてくれる存在になるから
[B] 感謝はしないが、死は本に書かれていないことをたくさん教えてくれたから
[C] 頭が悪くてなまけもの人間が、死に直面して初めて勉強するようになるから
[D] 願わないことであるが、父の死から考えさせられることがたくさんあったから

30. この文章の内容に合っているものはどれか。

- [A] 学校を卒業した人たちの先生の中で、実用組の先生がもっとも多い。
[B] スポーツ組の先生は仕事が忙しいので、地味な服がもっとも似合う。
[C] 人の一生にあった先生の中で、願わないで教えられる先生もいる。
[D] 実際年齢が知られたくないので、若々しく振舞っている先生もいる。

[三]

現在はどうかかわからないが、ロシアがソ連(苏联)だったころ、男の人も女の人も、一歩家を出る時は必ず、買い物袋を持っていたという。どうしてかという、いつ、自分の欲しいものが売りに出されるかわからないからなのだろう。

そのソ連では、街を歩いていて行列ができていると、人は必ず、とにかくその行列の一番後ろに並ぶという。何のための行列だかわからなくても、まず並ぶのだそう。

その列は、りんごの売り出しのための列かもしれない。牛肉の列かもしれない。トイレトペーパーの列かもしれない。とにかく並んでみて、自分が欲しいものであったならば、例のい



つも持ち歩いている買い物袋を引っ張り出して、その品物を買うというわけである。こういう時のために、ソ連の人はいつも買い物袋を持って歩いているのだ。

この買い物袋のことを、ロシア語では「アボシカ」という。そしてこのアボシカの本来の言葉の意味は「もしかしたら…」という意味なのだそうだ。

私はこの話を聞いた時、ふっと自分自身の日常生活を考えた。

もちろん、出掛けるごとに買い物袋を持って行く…などということはしていない。たとえ外で何かを急に買ったとしても、日本では、その品物は袋に入って渡されるから、その必要性もないのである。

確かに便利ではあるけれど、私たちは、こうした行き届いた暮らしの中で、少しずつ、何かを忘れてしまっているような気がする。

人は、今日(ア)を知らずに生きている。まるでソ連の人が家を出る時のように、私たちも一日を生きているのである。

もしかしたら、心が洗われるような音楽に出会うかもしれないし、人生を変えてしまうような本に出会うかもしれない。考え方を改めるような映画に出会うかもしれないし、心の支えとなるような人に出会うかもしれない。涙ぐむような光景に出会うかもしれないし、力強い言葉に出会うかもしれない。

どんなものにぶつかるか、私たちは何も知らずに生きているのである。

果たして私たちは、そんな大切なものに会った時、それを自分のものにしてしまえるような買い物袋を持っているだろうか。

せっかくいいものに出会うことができても、それを自分の心の中に取り込まない限りは、ただの「いいもの」で終わってしまう。自分の心で感じ、自分の頭で考え、それを自分のものになければ、何もならないのである。

品物は、確かに袋に入れて渡してくれる。けれども心が欲する何かは、剥き出しのまま、ボンと私たちの前に落ちるだけである。それを入れる袋は、私たち自身の心の中にしか存在し得ないものだ。誰かが袋をくれるわけでもない。拾ってくれるわけでもない。自分で拾って、自分の袋に入れるしか方法はないのである。

心のどこか片隅に、いつも「アボシカ」を持って生きていたいと思っている。

31. 文中の「この話」とは、どんなことか。

- [A] ソ連の人は、街でできている行列がなんの行列かわからなくてもまず並ぶこと
- [B] ソ連人は欲しい物にあったら、いつでも買えるように買い物袋を持ち歩くこと
- [C] 日本人は、出掛けるごとに買い物袋を持っていくようなことをしていないこと
- [D] 買い物袋を「アボシカ」というロシア語の意味は、「もしかしたら」であること

32. 文中の「行き届いた暮らし」とは、どのような暮らしか。

- [A] 必需品を買うために並ぶことを経験したことがないような豊かな暮らし
- [B] 昔の物不足の生活をきれいに忘れてしまった現在の豊かな暮らし
- [C] 出かける時に何かの売出しの列を探さなくてもいいような便利な暮らし
- [D] そとでの買い物のときも品物は袋に入って渡されるような便利な暮らし

33. 文中の(ア)に入れるものはどれか。

- [A] 何に出会うか
- [B] 何が変わるか



[C]何をなすべきか

[D]何が売られるか

34. 文中の「それ」は何を指すか。

[A]私たちの目の前に現れた自分の心が強く求めているもの

[B]ようやく手に入った包装されていない非常に大切なもの

[C]外出先で偶然に発見して購入する前から欲しかったもの

[D]道端で拾えない自分が努力してはじめて入手できるもの

35. この文章で筆者がもっとも言いたいことは何か。

[A]私達は不便な生活を強いられても上手に対応できるような意識を持つべきだ。

[B]私達は誰かが渡してくれたものの中からいいものを発見する目を持つべきだ。

[C]私達は精神的食糧になる何かを自ら取り入れようとする心構えを持つべきだ。

[D]私達は昔のソ連の人びとの困難に負けないような楽観的な精神を持つべきだ。

〔四〕

医者の前に座る患者は無力である。無力で哀れな存在である。患者の無力感を象徴するかのように、小さな、丸い腰掛けが置かれている。患者はこの上に腰を下ろさねばならない。

(ア)、医者は堂々としている。権威のある、頼もしい存在である、あるいは、そういう存在でなければならない。医療というのは、今もなお、呪術的一面を残しているものだから、医者が無力で哀れな存在であれば、ショーバイつとまらないのである。それがあらぬか、医者はたいてい、肘付きの堂々たるいすに座っている。いすの肘は、医者がこれに、手ないし肘をのせて、堂々と患者に対することを期待している。そもそもいすの肘というものは、医者の役割に対する社会的期待の象徴である。

残念なことに、医者のいすはしばしば、くるくる回る子供っぽさをも兼ね備えている。患者のからだを多方面から観察、診療しているかと思うと、くると翻ってつくえに向かい、処方その他のビジネスに立ち向かわねばならない。ビジネスをせねばならぬという状況そのものが、若干の幼稚さを医者のいすに強制しているのである。

医者にとって気の毒なことは、いすが少しも安楽ではないことである。安楽というのはいすの大切な目的の一つであろうに、診療のためのいすは安楽ではない。安楽いすや揺りいすに座って、ずばり、診断を下すことは難しかろう。というわけで、正姿勢で患者と対面する。対面しつづけなければならない、ここのところが問題だ。

患者は確かに哀れな腰掛けに腰を下ろしている。が、何分かの辛抱である。医者の方は、肘付きいすに何時間も縛り付けられていなければならない。何時間も同じ姿勢を取りつづけること。これが体に良くないことは自明である。自明のことを、からだの専門家である医者もやらなければならない。気の毒だと思う。私は気の毒だと思うけれど、世間には無情な人もたくさんいて、医者の平均寿命の長くないのをからかう人もいるという。いけないことである。

一つには、権威である。

もう一つは、安楽である。

さらに、仕事ということがある。

この三つの目的と、いすはかかわっている。三つのことを、同時に果たすことはきわめて難しい。医者のいすが示すとおりである。

何も、一つのいすですべてを果たすことはない。歴史上、さまざまな文化の中で、いろんな



いすが現れては消えていった。今ふと、身の周りを見まわすと、いろんないすが声をあげて自己主張しているのに気づく。

36. 文中の(ア)に入れるものはどれか。

- [A]もしくは [B]そのうえ [C]いっぽう [D]ところで

37. 文中の「医者への役割に対する社会的期待」とは、どのようなものか。

- [A]権威のある、呪術的な一面を多少残す存在であるべきだ。
[B]権威のある、患者にとっては頼もしい存在であるべきだ。
[C]権威のある、患者に哀れな一面を示さない存在であるべきだ。
[D]権威のある、素直に自分の無力感を訴える存在であるべきだ。

38. 文中に「若干の幼稚さを…強制している」とあるが、なぜそのようなになったのか。

- [A]医者は無力な患者に面白さを感じてもらわなければならないから
[B]医者にビジネスに携わるための便利さを提供せねばならないから
[C]ビジネスをせねばならない医者にすこし安楽を感じてほしいから
[D]気の毒な医者に強制的にでも子供っぽい性格を持つてほしいから

39. 文中に「気の毒だと思う」とあるが、それはなぜか。

- [A]医者は無力で哀れな患者に対して、堂々として診断を下せない場合もあるから
[B]医者は権威を象徴する肘付きいすが好きだが、それは却って健康を害したから
[C]医者は体の専門家ではあるが、自分の病気を治療できる人があまりいないから
[D]医者は健康に良くないとわかって、同じ姿勢で座りつづけざるを得ないから

40. この文章の内容に合っているものはどれか。

- [A]医者は診療の時、小さな腰掛けに座っている患者の気持ちを考えるべきだ。
[B]医者の座っているいすに権威、安楽と仕事の機能を同時に持たせるべきだ。
[C]医者は安楽でないいすに座っている時、堂々と診断を下すことはできない。
[D]医者の診療用の肘付きのいすは、安楽という大切な役割を果たしていない。

B 次の文章の下線のついた部分を中国語に訳しなさい。(3点×5=15点)

それぞれの学問にはそれぞれ固有の対象領域があります。法律を扱う学問が法学であり、経済現象を対象とするのが経済学です。41. もちろん、その領域をさらに細分化し、専門化していくこともできます。 きわめて簡単に言ってしまうと、学問とは、一定の対象に関する普遍的な記述を与えることだと言ってもいいでしょう。 42. 普遍的な記述が与えられることによって、われわれはその対象を操作し、支配することができるわけで、そうした実践性だけが学問の動機の一つではありませんが、しかしそれを通じて学問は社会へと開かれているわけです。

ここで大事なキー・ワードは「普遍性」ということです。つまり、43. 学問がある対象の記述を目指すにしても、その記述は、決して記述する人の主観に左右されるものではなく、原理的には「誰にとってもそうである」というような仕方で記述されているのでなければなりません。 44. 「わたしはこう思う」というだけでは、まったく不十分なのであって、「わたしにとってそうであるだけでなく、あなたにとっても、誰にとってもそうであるとわたしは思う」のでなければなりません。 しかもなぜそのように言うことができるのかを、論理的に———ということは、原理的には誰にも分かるような仕方で説明し、論証することができるのでなければなりません。

そのことを、専門的な言い方では「反証可能性」と言います。すなわち、どのような知の言説



も、同じ知の共同体に属する他の研究者が、同じ手続きを踏んでその記述や主張を、再検討し、場合によっては、反論し、反駁し、更新するという可能性に対して開かれていなければならないということです。

45. このことは、理科系でも文科系でも同じことですが、大学で学ぶべきもっとも重要なことは、まさに自分の思考に反証可能な表現を与えること、そうしてそれを普遍性のほうへと開いていくことなのです。それは、自我の立場に立って考えるのではなく、普遍性の立場に立って考えるということです。しかし、それは、言うは易く、行うは難しです。どこかに端的に普遍的な立場などというものが存在しているわけではないからです。普遍性は、あらかじめ存在するものではなく、それに到達し、それを獲得することをわれわれが目指すべき地平のようなものです。その普遍性の方に向かって自分の認識や表現を開くこと——それが、大学という場に課せられた使命であり、約束なのです。

Ⅲ. 作文(25 点)

46. 次の指示にしたがって、450 字～500 字の作文を書きなさい。

もし買えるとしたら、あなたは次のどちらを選ぶか。

A: 勤め先に遠いが、広くて立派な家

B: 勤め先に近いが、狭くて古い家

AとBのどちらかを一つ選んで、その理由を作文に書きなさい。

注意: ① 自分でテーマをつけること

② 「だ・である」体で書くこと

③ 漢字を使うべきところは漢字を使うこと

2017 年全国硕士研究生招生考试日语试题参考答案

I. 日语知识运用(1 分×20=20 分)

1.【B】 此处「を」提示他动词「取り上げる」的宾语「読むこと」。

【技巧点拨】 完形填空类题目,只是以一段阅读文为素材,进行其中的语法、词汇考察而已,所以往往不需要读懂文章内容,只是通过题目所在句子的语法结构等,即可作答。本题目的解答,便是通过了解「～を～に(する)」这一惯用词组即可作答,无关前后文意思。因此,切不可将完形填空类题目按照阅读理解类题目的方式来解题。

2.【A】 「思わず」表示“不假思索地”。前文提到“有个学生的答案非常棒,于是不假思索地写了一个大大的 Good”。

3.【B】 「～に対する」表示“对于……”,此处含义为“对于那样答案的感叹的呐喊”。

4.【D】 「ことに」表示“(令人)……的是”,接在表示情感的词后,如「驚く」、「残念」等;此处含义为“令人惊讶的是……”。

5.【A】 「スター」含义为“明星”。前面出现「僕が」,因此只有「スター」恰当。其他选项含义为 B「スキー」“滑雪”;C「スロープ」“倾斜”;D「スタート」“出发,出发点”。

6.【C】 提问句后面出现「～かと」,为疑问句式,因此前面应该选择疑问词「なんで」“为何”。其他选项含义:A「なんか」“总觉得”;B「なんて」“……之类的”;D「なんと」与「のだろう」搭配,表示“多么……啊”。

7.【B】 「ゲームには勝つ」表示“游戏获胜”。「は」在此处表示强调。

8.【D】 「について」表示“关于……”。后文出现“什么都没说”,因此“关于……,什么都没说”最恰当。其他选项含义:A「に対して」“对……,向……”;B「に応じて」“根据……,按照……”;C「において」“在……方面”。

9.【C】 本句含义为“在我心里一直有愤怒、不满以及不为人知的敌意”。

10.【A】 「沸いてきた」表示“涌现出来”,因此「てきた」最恰当。

【技巧点拨】 「てくる」用法总结:

(……着来;靠近过来;(相继发生)……(然后)再来;(一直)……下来;(出现)出来;(开始)……起来;(朝这边)……来,……过来)

11.【D】 「てもらう」表示“别人为我做……”。此处含义为“正在那样的烦恼的时候,老师在卷子上为我写下了‘Good’”。

【技巧点拨】 授受动词解题技巧:牢记以下各个句式中出现的人物关系

①AはBに～てやる/あげる/差し上げる:我(方)对他人做……

A:我(方)

B:他人

例:東京の弟に、今年もふるさとの名物を送ってやった/今年又给住在东京的弟弟寄了点家乡的特产。

②AはBに～てくれる/くださる:别人对我(方)做……

A:他人

B:我(方)

A 为我(方)做~,为我(方)带来好处

例:姉はアルバムを買ってくれた/姐姐为我买了相册。

③BはAに～てもらう/いただく:B请求 A 做~,B 得到了 A 为自己做……



A: 他人

B: 我(方)

B 请求 A 做~, 对 B 带来好处

例: 私は皆に助けてもらった/我得到了大家的帮助。

12. 【C】 「~たことがある」表示“曾经有过……”。

13. 【D】 此处「ながら」表示“一边……一边……”

【技巧点拨】 「ながら」用法总结:

① 一边……一边……。

例: 音楽を聞きながら勉強します/一边听音乐, 一边学习。

② 表示样态。……状。

例: いつもながら/如平常一样; 生まれながら/天生; 昔ながら/和以前一样。

③ 虽然……, 但是……。

例: 子供ながらに、なかなかしっかりとした挨拶(あいさつ)であった/虽然是个孩子, 但是讲话很得体。

14. 【B】 此处「ている」表示“结果状态的持续”。即“已经成为了一名研究生”。因此选项 B “已经关门了”符合题干用法。

15. 【A】 此处「(ら)れる」表示“可能”, 即“可以嚣张”。因此选项 A “不能那么早起床”符合题干用法。

【技巧点拨】 「れる(られる)」在日语中有“敬语、可能、被动、自发”4 种含义。

敬语: 先生はお言葉を述べられました/老师讲了话。

可能: わたしは寿司が食べられる/我能吃寿司。

被动: 生徒は先生に褒(ほ)められた/学生受到了老师表扬。

自发: 海を見ると、故郷(こきょう)が思い出される/我一看到大海, 就不禁想起故乡。

16. 【A】 此处「で」表示“范围”, 与选项 A 用法一致。

【技巧点拨】 「で」用法总结:

① 表示行为动作的场所、地点。

例: 運動場でバレーボールを練習する/在操场练习排球。

② 表示范围或区域。

例: 富士山は日本で一番高い山です/富士山在日本是最高的山。

③ 表示方法、手段、工具。

例: 鉛筆で書いてください/请用铅笔写。

④ 表示期限、时间、数目等。

例: この辞書は5000 円で買ったのです/这本字典是花费 5000 元买的。

⑤ 表示原因、理由等。

例: 風邪で学校を休んだ/因为感冒没去上学。

⑥ 表示动作进行的状态。

例: 皆で一緒に歌いましょう/大家一起唱歌吧。

17. 【D】 此处「ため」表示“目的, 为了……”。

18. 【C】 此处「ということ」用于叙述词语、句子的意思和解释事情时, “是说这个意思, 是这么回事”。因此选项 C “这个谚语是必须要珍惜时间的意思”。

19. 【B】

20. 【C】



II. 阅读理解(满分 55 分)

21. 【C】 下文提到「なぜ読まないか、話は簡単である。読み比べて、何の区別もないからだ」“为什么不读,说起来原因很简单。因为比起读后,没有任何区别”。因此选项 C“报纸内容全都大同小异,基本看不出变化”符合文章含义。

【技巧点拨】 对于提问句子原因理由类问题,一定要注意提问句子周围有没有原因理由陈述的句式结构,即「～からだ」、「～ため、～のだ」、「なぜか」というと、～からだ」等。以该结构出现的句子,经常包含解题答案。

22. 【B】 前文提到“净是些二加二等于四的文章”,后文提到“……能够看出区别的是专栏”,因此可以看出,前后叙述内容发生了改变,为话题转折关系。因此「さて」「表示话题转折」符合文章含义。其他选项含义:A「なお」「而且」;C「そのため」「因此」;D「すなわち」「换言之」。

23. 【A】 「それ」指代前文内容,即「座布団サイズの新聞が、ハガキ大のスペースのコラムで売られていたんだ」“坐垫一般大的报纸,因用明信片面积大小的专栏而得以畅销”,因此选项 A“字数很少的专栏支撑着当时的每日新闻”,符合文章含义。

【技巧点拨】 阅读题目「こ、そ、あ」指示词类问题,遵循以下规律进行解题:

①こ～:指代前文、后文的内容(前后内容都可以指代);

②そ～:指代前文内容;

③あ～:指代彼此都知道的内容或在讲述个人经历的篇章中,记忆中的事物或事项。

备注:所谓指代前文,在阅读文中所指代内容可能性最大的是前一句。有时候也包括提问部分本身所在句子的前半部分。如果前一句没有有效信息,再依次向前寻找。

24. 【C】 前文提到「ニュースそのものは、現代、即刻テレビで報道されてしまう」“新闻本身,在现代,立刻被电视所报道”,因此选项 C“即时报道新闻方面报纸无法战胜电视”符合文章含义。

【技巧点拨】 本题目根据“信号词”提示,可以锁定答案句。提问句以「従って」开头,因此前文为原因理由的陈述。同时,前一句话开头为「そして」「而且」,表示该句为前一句基础上的“附加”,因此可以锁定答案句为「ニュースそのものは、現代、即刻テレビで報道されてしまう」。

25. 【A】 文章第三段第三句提到「久しく前から、新聞を作る人たちが自分の言葉のプロであり、文章を書くことによってメシを食う職業人であるという意識を、徹底的に喪失してしまった」“很久之前开始,报纸制作人就彻底丧失了自己是语言的专家、是靠写文章吃饭的专业人士这一意识”,因此选项 A“现在的报纸制作人完全忘记了自己是以文章为生这件事”符合文章含义。

26. 【B】 「こういう」指代前文提到的内容,即「主婦はタイプや筆記を習っても、～」“家庭主妇就算学打字和笔记,也……”,因此选项 B“像打字那样实用的东西”符合文章含义。

27. 【A】 提问句提到“教别人知识的行业,容易变得谨慎……”,后文提到“被称呼为老师的话,必须要有总是不知在何处就被很多的学生看的思想准备”。因此选项 A“深知总是被别人关注和模仿”符合文章含义。

【技巧点拨】 本题目可以采取“寻找关联句”法进行解题。提问句中前文提到「人にものを教える商売は」,于是可以看出,下一句「先生と呼ばれれば」为其关联句,因为「人にものを教える商売=「先生」。于是,通过阅读关联句,不难得出答案。

28. 【D】 前文提到「ふけていて若々しくなくては、生徒たちに人気がないのだそうだ」“据说不是既上了年纪又朝气蓬勃的话,就不会受学生欢迎”。因此选项 D“因为学生喜欢虽然上了年纪,但沉着又不失年轻朝气的老师”符合文章含义。

29. 【D】 从前文寻找「死は師である」的“关联句”,即「私は十年ほど前に父の死にあったのだが、あの死にあったのでどんなにいくつものことを教えられたか、数えることも何もできないのである」“十年前虽然遭遇到了父亲的死亡,可是通过遭遇那次死亡,受到了多少教育,数也数不清”。因此选项 D“虽然不情愿,但是从父亲的死能够发人深省的东西有很多”符合文



章含义。

30. 【C】 文章最后一段叙述了“父亲的死给我带来的教育”，因此选项 C“人的一生中遇到的老师中，有的是并非所愿但可以获得教导的老师”符合文章含义。
31. 【B】 提问句中提到「この話を聞いた時、ふっと自分自身の日常生活を考えた」“我听到这件事的时候，突然想起了我自己的生活动”可以判定，听到的“事”为前文提到的“事”。同时，通过阅读后文，可以知道这件事与“拿着袋子购物”有关，因此，从前文中寻找有关“拿着袋子购物”的“事”，即「とにかく並んでみて、～。こういう時のために、～のだ」，由此可知，选项 B“苏联人有想要的东西的话，总是随身携带购物袋以便随时可以买到”符合文章含义。
32. 【D】 文中那种“细致入微”的生活，是什么样的生活。提问部分前面为「こうした」，可以判断答案在前文中，即「たとえ外で何かを急に買ったとしても、日本では、その品物は袋に入って渡されるから」“就算突然要买什么，在日本也可以把那个商品装入袋中交给本人”，因此选项 D“在外面买东西的时候也可以把商品放入袋子里交给本人那样的方便的生活”符合文章含义。
33. 【A】 本题目只通过提问句子本身即可得到答案。句子的含义为“人是在不知道今天……中活着”，因此选项 A“会遇到什么”最为恰当，即“人是在不知道今天会遇到什么中活着”。
34. 【A】 「それ」指代前文内容，即「けれども、心が欲する何かは、剥き出しのまま、ポンと私たちの前に落ちるだけである」“可是，只是自己心里想要的什么东西，毫不掩饰地砰的一下落到了我们前面而已”，因此选项 A“我们眼前出现了我们心中十分想要的东西”符合文章含义。
35. 【C】 文中最后一句提到「心のどこか片隅に、いつも「アボシカ」を持って生きていたいと思っている」“希望在心灵深处的某个角落，能够始终怀有‘アボシカ’活下去”。前文中已经得知「アボシカ」为俄语中的“购物袋”。而前文也陈述了作者关于“购物袋”的相关观点，即「自分で拾って、自分の袋に入れるしか方法はないのである」“除了自己捡，装入自己的袋子里之外别无他法”。因此文章最后一句强调的是，自己的内心深处要时刻记住自己去获取。因此选项 C“我们应该具有自己去取得某些精神食粮的心理准备”最贴近文章的含义。
36. 【C】 (ア)前面提到「患者はこの上に腰を下ろさねばならない」“患者在上面不得不弯腰”，后面提到「医者は堂々としている」“医生威风凛凛”，因此前后形成鲜明的对比，因此选 C“另一方面”。
37. 【B】 提问句中是关于「医者」的，因此寻找关于「医者」的关联句，即「～医者は堂々としている。権威のある、頼もしい存在である、あるいは、そういう存在でなければならない」“医生威风凛凛。是有权威，可以信赖的存在，或者说，必须是这样的一种存在”，因此选项 B“应该是有权威，对患者来说可以信赖的存在”符合文章含义。
38. 【B】 提问句含义为“让医生不得不去从事其他事务本身，就是给医生的职位强加了若干的幼稚的东西”，因此可以看出作者并不主张医生从事其他事务。因此，选项 B“必须要给医生提供从事其他事务的便利”最符合文章含义。
39. 【D】 文中说“觉得可怜”，是为什么。前文提到“几个小时采取同一个姿势坐着。他们自己很清楚这对身体不好。自己清楚的事情，作为治疗身体专家的医生又不得不去做。我觉得很可怜”因此，选项 D“医生明知道对自己身体不好，却不得不以同一个姿势一直坐着”。
40. 【D】 文中提到，“医生不得不在带有把手的椅子上持续坐着，而且对身体不好……”，因此可以判断，医生的椅子并不“安楽”“舒适”。因此选项 D“医生看病时用的带有把手的椅子，并不能发挥舒适这一重大作用”符合文章含义。

B (3分×5=15分)

41. 当然，也可以将那个领域进一步细化和专业化。所谓学问，简言之，也可以说是给予特定对象以普遍性的描述。

重点：…こともできます。

…と言ってもいいでしょう。



42. 通过赋予其普遍性的描述,我们可以操纵并管理这个对象。虽然这种实践性并不是学术研究的全部动机,但可以通过这种行为使学问走向社会。

重点:…によって、…

しかし…

…わけです。

43. 虽然学术研究的目标在于描述某个对象,但该描述决不能被描述者的主观所左右,在理论上它必须以“在任何人看来都是如此”这样的方式进行描述。

重点:…にしても…

けっして…ではなく、…

44. 如果只是“我这样认为”,那是极不充分的,它必须是“我认为不仅在我看来是这样的,在你和任何人看来都是如此”。

重点:…だけでは…

…にとっても、…にとっても…

45. 在这一点上,无论理科还是文科都是一样的,在大学应该学习的最重要的东西,正是给予自己的思考以可以进行反证的表述,并使之具有普遍性。

重点:…でも…でも…

…べき…

【技巧点拨】 对于原文中一些只可意会不可言传的动词,在理解其大致含义的基础上,可以采取弱化、忽略等方式处理。本题目中「開いていく」很难翻译,翻译时候可以忽略。

Ⅲ. 作文(满分 25 分)

46. 如果能买的话,你选择下面的哪一个?

A: 离工作单位远,但是又大又气派的房子;

B: 离工作单位近,但是又小又旧的房子;

请在 AB 之间选择一个,并陈述理由,写成作文。

【技巧点拨】 ① 首先给出自己的选项,提出自己的观点;

② 阐述自己给出该选项的原因,结合自己的自身案例加以说明;

③ 笔锋一转,就另一个选项进行陈述,指出另一个选项的优点,但最后依然转到自己的观点与立场;

④ 总结陈述,最后言简意赅陈述自己的观点。

【参考例文】

家の選択

職場に近いが、狭くて古い家——今の私には十分であり、理想的である。

なぜなら生活には便利性が一番大事だ、と考えるからだ。一日の三分の一は職場で過ごすのである。もしやり残した仕事、急な用事が入った場合、職場が近いというのは大変ありがたい。

また毎日の通勤時間のロスも体力的にもきつい。この時間のロスは積み重なれば結構なストレスである。毎日の通勤が苦痛になれば仕事にも積極的になれないかもしれない。このストレスを除外して、仕事をする時期にはめいっぱい仕事をする。もし何らかの理由で新しく大きな家が必要ならば、その時に考える、というのが私のスタイルである。

もちろん大きく新しい家は魅力的だ。私も含めて、そういう家に住みたいと誰もが思うだろう。仕事で疲れた体を快適な空間で癒すというのも一つのライフスタイルである。

またある程度の地位のある人には立派な家が必要かもしれない。

一日 24 時間、この時間をどう過ごすかは個人の自由だ。私の場合、仕事が 8 時間、睡眠が 7、8 時間とすると残りは 8、9 時間である。この 8、9 時間をできる限り楽しく過ごしたいのである。

2016 年全国硕士研究生招生考试日语试题

I. 基礎知識(20 点)

次の文章を読んで、1～20の問いに答えなさい。答えは選択し[A][B][C][D]からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

明治改暦以来 135 年経った。日本は旧暦を捨て近代化に進進しました。旧暦が(1)生きてい
る中華文化圏との連帯感も希薄になりました。

明治 6 年から新暦の運用が始まりました。五節句(2)はじめとする年中行事やいろんな記
念日の日付が、旧暦の日付がそのまま新暦の日付となりました。明治 5 年 12 月 3 日を明治 6
年元日にした時に、日付を 28 日飛ばしたという。飛ばした一か月は四季のある日本では、季節
感を根本的に狂わ(3)のです。寒中に迎えるお正月を「新春」と言ったり、梅の季節の雛祭りを
「桃の節句」と言ったりする矛盾が、改暦後に噴出しました。そこで我々の先輩が考え出したの
が、三つの年中行事基準でした。

仲秋の名月が代表例です。仲秋の名月は旧暦 8 月 15 日ですが、新暦の 8 月 15 日では月象が
一定しませんし、中秋でもありません。そこで、旧の日付を新暦に換算していますので、日付
が毎年(4)のです。旧暦 2 月 1 日から 14 日まで、東大寺の「お水取り」行事が行われます。旧暦
2 月は仲春です。新暦 2 月 1 日からこの行事を行えば、厳寒で季節が合わないの、仲秋の名
月のように旧暦を新暦換算(5)、月象は無視して単純に一か月遅らせるのです。盂蘭盆会も旧
暦 7 月 15 日の行事でした。これも現在、月遅れのお盆として、8 月 15 日に月象を無視して行
われています。

旧暦 6 月が盛夏で渇水期でしたので「水無月」と言われ、日本各地で夏祭りが行われました。
大阪「天神祭」も旧暦 6 月 25 日の行事でしたが、新暦 6 月は梅雨ですので、一か月遅らせて 7 月
25 日に行われています。(6)、季節感を合わせるために一か月遅らせた年中行事はたくさんあ
ります。

中国・ベトナム・韓国・朝鮮では、現在(7)春節が公式の祝日です。世界中に在住する華僑
を合わせると 15 億人が春節を祝っていますが、日本(8)が季節に合わない新暦 1 月 1 日を、新
春正月として祝っています。

五節句の、七草、雛祭、端午の節句、七夕、重陽なども、旧暦の日付をそのまま新暦の日付
(9)行っていますから、実際の季節よりも(10)一か月早い行事となっています。

俳句の季語で「七夕」がなぜ秋なのか。旧暦(11)秋が 7 月・8 月・9 月だったからです。
子供の成長を祝う「七五三」も、本来は旧暦 11 月 15 日の行事でした。

(1)～(11)に入れるのにもっとも適切なものはどれか。

- | | | | |
|-------------|----------|----------|----------|
| 1. [A]また | [B]まだ | [C]ほんとに | [D]いまさら |
| 2. [A]が | [B]の | [C]を | [D]に |
| 3. [A]れる | [B]せる | [C]せられる | [D]させる |
| 4. [A]変わる | [B]変わらない | [C]変える | [D]変えない |
| 5. [A]しなければ | [B]しないと | [C]せねば | [D]せずに |
| 6. [A]このように | [B]そのように | [C]あのように | [D]どのように |
| 7. [A]に | [B]は | [C]も | [D]が |



8. [A]しか [B]さえ [C]だけ [D]ほど
9. [A]として [B]となって [C]にたいして [D]にかぎって
10. [A]少ないけれど [B]少なくとも [C]多いけれど [D]多くとも
11. [A]でも [B]にも [C]には [D]では
12. 文中「四季のある」の「ある」と同じ使い方のものはどれか。
[A]用事のある人は来なくてもいい。
[B]上海のある喫茶店で彼と偶然会った。
[C]赤い字の書いてある看板がうちの店だ。
[D]指導教官である田中先生は転勤するそうだ。
13. 文中「考え出した」の「出す」と同じ使い方のものはどれか。
[A]やり出すと、もうやめられない。
[B]緊張して、意見が言い出せない。
[C]昨日の午後から降り出した雨がやんだ。
[D]信号が変わると、車が一斉に走り出した。
14. 文中の「そこで」と同じ使い方のものはどれか。
[A]僕の家はすぐそこで、それほど遠くない。
[B]動かないで、そこで、待っていてください。
[C]分からなくて困った。そこで、先生に尋ねた。
[D]昨日、本屋に行った。そこで、いい本を見つけた。
15. 文中の「仲秋の名月のように」の「ように」と同じ使い方のものはどれか。
[A]いい学校に入れるように頑張る。
[B]遅れないように早めに家を出る。
[C]どうも彼がやったようにおもえてならない。
[D]彼がよく人を助けるように私もよくお年寄りに席を譲る。
16. 文中の「行われています」の「(ら)れる」と同じ使い方のものはどれか。
[A]社長はコーヒーを飲まれるそうです。
[B]昨晚、蚊が多くて、寝られなかった。
[C]展示会は来る5月に開かれる予定だ。
[D]彼の境遇が気の毒に思われてならない。
17. 文中「季節感を合わせる」の意味に近いものはどれか。
[A]季節への関心を示す。 [B]季節感覚を統一させる。
[C]季節の実感との一致を図る。 [D]季節について感想をまとめる。
18. 文中「世界中」の「中」と同じ使い方のものはどれか。
[A]この前の事件は例外中の例外だ。 [B]うわさが学校中に広まっている。
[C]この問題については今検討中だ。 [D]高原では、空気中の酸素が少ない。
19. 文中の「日付」の読み方はどれか。
[A]ひつけ [B]ひづけ
[C]ひつき [D]ひづき
20. 文中の「梅雨」の読み方はどれか。
[A]つゆ [B]つゆう
[C]うめう [D]うめあめ



Ⅱ. 読解(55 点)

A 次の文章の[一][二][三][四]を読んで、21~40の問いに答えなさい。答えは選択肢[A][B][C][D]からもっとも適切なものを1つ選びなさい。(2点×20=40点)

[一]

よく、大学の就職部では、就職を控えた学生にこんなことを言う。「会社を訪問したときに、社員たちの歩く速度を見よ。」と。歩くのが速ければ、それだけ活気に溢れている会社だという。

なるほど、確かにそうなるのだろう。しかしながら、だれもが走るような速度でバタバタ移動している、F社みたいな会社はどうだろう。

F社では、ノルマ(定額)を達成しないと、給料が出ないという掟があるのだ。よく新聞販売店で、ある程度の額を集金しないと、従業員の給料が出ないというケースがあるが、東証市場で二部上場しようというF社で、こんなことが行われているから驚く。

テレビドラマの「愛という名のもとに」では、ノルマが達成できない証券マンが、上司に足蹴にされるという場面があったが、あれと同じような展開が営業部で行われているのだ。朝、F社の社員たちはズラリと一列に並べられる。

課長:「おい、新田あ! 今月はいくら売ったんだ?」

新田:「125万円弱です」

課長:「なんだそりゃ? みんな、笑ってやろうぜ」

となり、みんなが不自然に笑うのだった。

また課長たちは、「客なんてカボチャみたいなものなんだからな。向こうか聞こうか聞いてまいかこっちで勝手に喋ればいいんだよ、そう思うだろう?」

なんてことを平然と言い放つ。さらに驚くべきことに、ここでは10万円単位で買う客をゴミに呼び、千万単位の客を「お代官さま(官老爺)」と言うそう。ある社員は、「売上が悪いヤツから解雇されていく。オレたちが働いているのは、“つぎはオレが切られるかもしれない”という恐怖感からなのだ」と、告白している。

ノルマがきつい職種といえば、やはり商社の営業を語らないわけにはいかない。

商社のK社には、「いつもニコニコ、正確な伝票(票据)」という標語がある。

この会社では、かつて営業マンが数字を上げようと思って、策を弄する事件が目立っていた。

ある程度、馴れ合っている取引先に「ちょっと伝票書いてよ」と伝票を起こさせて、それに何%かの手数料を載せてしまう。

商品が動いていなくても、伝票で操作ができるわけだ。でも、架空の売上だから、金は振り込まれない。そうすると、それを隠すため、別の商品を動かさなければならなくなる。S商事には、それが積みり積もって2億の赤字を出した社員がいたが、本人は懲戒免職になり、部長は左遷、担当役員は全員が出向になったそう。当たり前のことを標語にしないでとらないところに、ノルマに追われる人々の悲哀がある。

21. 文中に「会社を…速度を見よ」とあるが、なぜそう言っているのか。

[A] 歩くリズムからその会社の給料がわかると思うから

[B] 歩くリズムから会社の業績が予測できると思うから

[C] 社員の歩くリズム似合わせて歩くと就職しやすいと思うから

[D] 速く歩けば速く歩くほど活気に溢れてくるものだと思うから